

技術開発ワーキンググループを設立

- 「災害対策、インフラ点検ロボットの開発・導入・普及」を目的に技術開発WG(ワーキンググループ)を設立。
- 第1回技術開発WGを平成27年7月27日(月)に開催、(一財)先端建設技術センターから社会インフラ用ロボットの動向についての説明と、参加各社からロボット技術(シーズ)の紹介等を実施。
- 次回WGでは、建設業界のニーズを紹介する予定。

■技術開発WGの位置付け

中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム

会員84者 (H27.7.28現在)

あいちロボット
産業クラスター
推進協議会

役員会(福田代表(名城大学教授)他13名)

建設ICT導入
普及研究会

ワーキンググループ活動

WG1

建設生産

- ・CIM等設計段階における革新化技術導入、普及
- ・IoT、M2Mを活用したインフラ整備技術検討

WG2

技術開発

- ・災害対応、インフラ点検ロボットの開発、導入、普及



技術開発WG(H27. 7. 27)

■技術開発WG 構成員

(株)ブイ・アールテクノセンター	(株)明和eテック
三菱電機特機システム(株)	(株)前田製作所
日立建機(株)	日立建機日本(株)
戸田建設(株)	パシフィックコンサルタンツ(株)
国際航業(株)	(一社)日本建設機械施工協会
国土交通省 中部地方整備局	

■WG活動内容

- 次世代社会インフラロボットに関する情報交換
- ロボット産業(シーズ)と建設産業(ニーズ)の交流促進
- ロボット導入現場検証の支援等
 - ・試験ヤードの提供
 - ・管内構造物(維持管理等の対象物)の試験フィールド提供
 - ・工事現場での実証試験
- 技術の助言・成立性の確認

■今後の活動予定

- ・次回WGでは、建設業界側からニーズの紹介を行う予定。
- ・最終的には、実際の現場でのロボット技術の活用を目標に活動